

Contents *大型商業施設・タワーマンションの相次ぐ建設！今、門真市で何が起こっているのか *年末年始休暇のお知らせ *コラム



現在行政・民間を問わず様々な事業者が門真市で商業施設の建設や再開発を計画しています。

今回はどのような背景から門真市で商業施設の建設や再開発が計画されているのか、またその商業施設の建設や再開発が門真市の不動産市場へどんな影響を及ぼすのか、現状での情報をもとにお伝えします。

森澤 海渡

扉で定窓

建設・開発の画図

門真市で現在予定されている建設・再開発計画は大きく2つあります。

1つ目が門真市幸福東土地区画整理事業区域の再開発計画です。

2021年10月に京阪本線古川橋駅の北側にある門真市幸福東土地区画整理事業区域（廃校となった旧門真市立第一中学校跡地を含む）の再開発事業者が、門真市と住友不動産株式会社・京阪電鉄不動産株式会社・ミサワホーム株式会社からなるグループ（代表法人：住友不動産）に決定しました。事業計画の概要が発表され『地上41階建て・

総戸数567戸のタワーマンション』『生涯学習複合施設（図書館・文化会館）』『市民交流広場』『2階建の商業施設（導入施設：スーパードットコム）』『等が2026年の春頃に竣工される予定です。

2つ目が三井不動産により『仮称：三井ショッピングパークらぽーと門真×三井アウトレットパーク大阪門真』を建設する計画です。建設予定地は、パナソニックHDD株式会社三井不動産へ売却した門真市松生町の区画（デジタルAV機器を製造していた事業所跡地）になります。